

アートとシステム・ケイが共同開発 車両ナンバー認識と入退室管理システムが連携 ゼネスキャンナンバー 「ZENESCAN NUMBER」 2021年冬、提供開始

入退室管理システムをはじめとする統合管理システムの開発・製造・販売等を行う株式会社アート（本社：東京都品川区、代表取締役社長：関本祥文、以下アート）と、ネットワークカメラと AI 技術を中心としたシステムを開発、販売を行う株式会社システム・ケイ（本社：北海道札幌市、代表取締役：鳴海鼓大、以下システム・ケイ）は、車両ナンバー認識と連携した入退室管理システムを共同開発し、入退場車両ナンバー管理システム「ZENESCAN NUMBER（ゼネスキャン ナンバー）」として、アートのニューブランド ZENESQUE（ゼネスク）から 2021 年冬に販売を開始します。

■ 『ZENESQUE ゼネスク』ホームページ <https://zenesque.me>



現在、車両ナンバー認識システムは、有料大型駐車場などではスタンダード化していますが、毎回、特注での開発となり導入コストが高額になります。今回の「ZENESCAN NUMBER」はシステムを標準化することにより低価格で供給する事が可能となり、車両ナンバーも入退室管理システムの一部として総合的に管理し、オフィスビル、マンションの駐車場などで、関係者のみ自動でゲートオープンして入場するシステムが手軽に構築できるようになります。

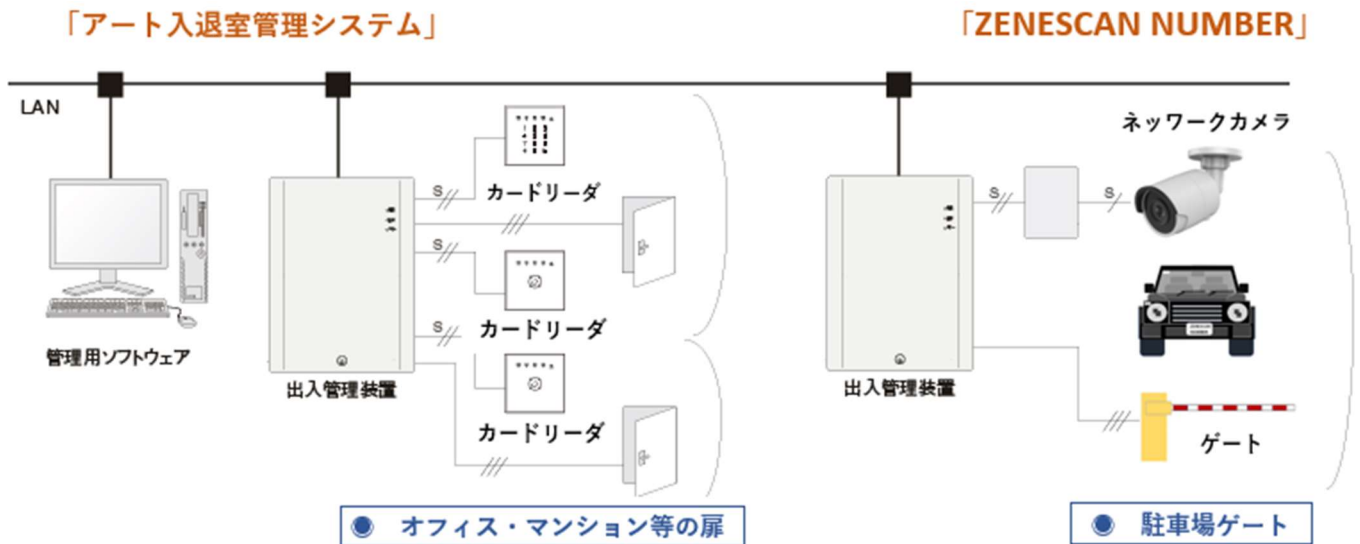
■ 車両ナンバーを登録するだけで車両の入退場を管理できる『ZENESCAN NUMBER』

入退場車両ナンバー管理システム『ZENESCAN NUMBER』は、システム・ケイが開発した車両認識率 99.5%^(※)、認識スピード画像 1 枚当たり 0.6 秒の業界トップクラスの認識率かつ高速認証を実現した車両ナンバー認識エンジンと、アートの 40 年にわたる実績のある入退室管理システムの連携により、車両ナンバーを登録するだけで車両の入退場を簡単に管理することができます。（※システム・ケイ調べ）

駐車場等のゲート前に設置されたネットワークカメラで車両のナンバープレートを自動で読み取り、登録された車両ナンバーであればゲートをオープンする他、タイムスケジュール設定により車両の入場可能な時間帯を細かくコントロールすることもできます。



カメラはAXIS、Canon及びSONY製のネットワークカメラに対応しているので、豊富なラインナップの中からカメラを選定できるほか、既設カメラをそのまま流用することもできます。また、夜間など暗い環境の運用でも、赤外線投光器を併用することで対応しています。



■共同開発プロジェクト第二弾の「顔認証」管理システムも開発へ

今後は今回提供を開始する『ZENESCAN NUMBER』に続き、両社の共同開発プロジェクト第二弾として入退室顔認証システム『ZENESCAN PERSON (ゼネスキャンパーソン)』を開発中です。入退場車両ナンバー管理システム同様ネットワークカメラで顔画像を読み取り認識するシステムで、システム・ケイの顔認証技術とアートの入退室管理システムを連携したシステムになります。

【会社概要】

- 企業名 : 株式会社アート
- 代表者 : 代表取締役社長 関本祥文
- 本社所在地 : 東京都品川区東五反田 1-25-11 五反田一丁目イーストビル
- 代表 TEL : 03-3447-1401
- 創業 : 1976年1月14日
- 設立 : 2003年8月1日
- 資本金 : 42,360,000円
- 従業員数 : 146名(2021年4月)(連結)
- 事業内容 : 各種建築物の統合管理システム及び入退室管理システムの開発
 上記システムに付随する各種装置の設計及び製造販売
 介護用システム機器の製造販売、前各号に関する施工及びサービス業務
 建築金物及び建築設備資材の販売・施工
- ホームページ : <https://www.art-japan.co.jp/>

【会社概要】

企業名 : 株式会社システム・ケイ
代表者 : 代表取締役 鳴海鼓大
本社所在地 : 北海道札幌市東区北 15 条東 1 丁目 2 番 24 号
設立 : 1991 年 2 月 25 日
資本金 : 310,000,000 円
従業員数 : 55 名 (2021 年 4 月現在)
事業内容 : 受託システム開発事業
ネットワークカメラ事業
インターネット関連パッケージ事業
ホームページ : <https://www.systemk.co.jp/>

<お客様問い合わせ先>

株式会社アート

担当 : 吉田圭吾、田村俊彦

TEL: 044-434-6601

E-mail : info@zenesque.me